

月例報告	
学部	社会
学科	メディア社会
国名	アメリカ
留学先	ウェストチェスター大学
報告月	2018年8月
内容	<p>1.学習状況の報告</p> <p><科目名:COM212 Mass Communication> (Dr. P. Thompsen) 教授が元ラジオDJで、とてもユニークな方です。パワーポイントもとても凝って作られていて、授業が楽しいです。この授業はハイブリット型で、オンラインで1時間15分の講義と、直接1時間15分の講義を受けるという形になっています。私が履修している授業の中では唯一大教室で行われて、100人ほど履修者がいます。(この他の授業は25人~50人ほどです)</p> <p><科目名:SWO225 Race Relations> (Dr. T. Ingersoll) 教授が比較的早く話す方なので、聞き取りに苦労しますが、授業内容は日本ではあまり考えることのないテーマなので、興味深いです。グループプレゼンテーションもあり、課題も多く、まったく学んだことのない分野なので、この授業が最も大変そうですが、頑張ります。</p> <p><科目名:SOC200 Introduction to Sociology> (Dr. J. Wiest) 教授の話し方が比較的はっきりゆっくりしているので、とても聞き取りやすいです。トピックは法政で学んだことと被っているところがほとんどなので、ついていくことは比較的容易です。</p> <p><科目名:SOC333 Self and Society> (Dr. J. Wiest) 社会心理学の発展のような授業で、教授はSOC200と同じ方です。唯一の300番台の授業なので不安ですが、社会心理学は、法政で履修して以来、もっと学びたいと思っていたので、楽しみです。</p> <p><語学について> 前述したSWO225以外、講義での教授の話は、予想していたよりも聞き取れています。ただ、ルームメイトや友人など、学生は話すスピードが非常に早く聞き取りに苦労しています。読みは得意なので特に問題は感じていないですが、教科書には知らない単語が多くでてくるため、語彙力向上が課題です。</p> <p><履修組みについて> West Chester大学では留学生自身が自由に履修組みすることはできず、International Centerの方が組んでくれます。変更も可能と伺ったので、変更したいと申し入れたのですが、「この履修はね、とてもよく練られているんだよ」と説得され、3つの講義を変更したかったものの1つしかできませんでした。 COM212とSOC200は、法政で同じような授業を履修済みのため、まったく受講する気がなかったのですが、変更できず、履修することになってしまいました。ただ、いざ授業に出てみると、法政での学びとの違いや共通点を発見することも楽しく、結果的にはよかったかなとも思います。</p> <p>2.生活状況の報告</p> <p><住居について> South Campus Apartment Complex(以下South)に住んでいます。ベツルームをシェアしているルームメイトはイタリア系アメリカ人の3年生です。フランス語や英語教授法の授業を履修していたりと、語学/言語や異文化に関心を持っているそうです。そのため、メール作成や課題を手伝ってくれるなど、とても留学生に理解があります。リビングやキッチンなどをシェアしているハウスマイト達とも、関係は良好です。 Southでは、1人部屋1つと2人部屋2つが一つのユニットになっていて、5人で水回りやリビングを共有します。早い段階で1人部屋の希望を出したのですが、通らなかったため、恐らく前のセメスターから在籍している学生しかSouthで1人部屋に住むことはできないのだと思います。 Southは街外れにあるので自然豊かです。鹿やリスをみまましたし、家の前の芝生に虫もいます。静かなので勉強がしやすいです。</p> <p><食事について> ミールプランは価格が高いこと、食事の度に15分ほどかけてバスでノースキャンパスに移動しなくてはいけないことなどが自分には合わないと思い、購入しませんでした。自炊をしています。スーパーへは、バスを一回乗り継ぎ、20分ほどで行くことができます。幸い火水木しか授業がないので、4日間の休みのうちに買い出し、作り置きをしています。 また、大学内のResource Pantryというところでは、缶詰やパスタ、大学内で育てた野菜などの食料品と、洗剤や歯ブラシ、ペンなど基本的日用品や学用品を無料でもらうことができます。無料ということももちろんですが、洗剤や缶詰など重いものを遠くのスーパーまで買いに行かなくても良いという面でも、助かっています。</p> <p><Japan Clubについて> 昨年留学していた先輩方に連絡先を繋いでいただいたおかげで、Japan Clubのメンバーとは日本にいるときから連絡を取り合うことができていました。そのおかげで、空港に迎えに来てもらったり、初日の夜に彼らの家に泊めてもらったり(寮が開いていなかったため)、街や大学を案内してもらったりと、とてもお世話になっています。特に、序盤の数日間の生活は彼らなしでは成り立ちませんでした。今後の留学生活のなかで恩返ししたいと思います。</p> <p>3.その他(今、感じていること~心境の変化やご自分の成長等)</p> <p>West Chester大学には、アジア人・日本人がほとんどいないと伺ってはいましたが、本当に少なくなくて驚きました。アジア人どころか、まず留学生自体がとても少ないので、周りはネイティブスピーカーばかりの毎日です。 気候は日本と非常に似ていて、ムシムシと暑いですが、ただ、朝晩は冷えるのと、寮の中は凍えるほど寒い(寒がっているのは5人中私だけなので、4:1でエアコンの設定温度戦争に負けます。もしかしたら白人/アメリカ人(何と呼べば適切かわかりませんが)とアジア人では体の作りが違うのかもしれない)ので、健康管理に気を付けなければ、と思います。</p>